

令和3年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（12月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

1 目的

大阪エコ農産物の安全・安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

2 分析期間 令和3年12月6日～12月8日

3 分析農薬の種類 50農薬

4 検査機関 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

5 分析結果

3種類の作物について、計5検体調査を行いました。

食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表 分析結果

作物の種類	エコ栽培基準 (農薬上限使用 延成分回数)	分析 検体 数	農薬が検 出された 検体数	検出された農薬の成分名	残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)	
しゅんぎく (施設)	3	3	3	検体1	クロチアニジン	0.11	10
					フルフェノクスロン	0.19	10
				検体2	アゾキシストロビン	0.20	30
				検体3	シアントラニリプロール	0.03	20
キャベツ	8	1	0	—	—	—	
こまつな	3	1	1	クロラントラニリプロール	0.02	20	
				クロチアニジン	0.01	10	

検出された各農薬成分は残留基準値を下回っており農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。

しゅんぎくで検出されたシアントラニリプロールはしゅんぎくには登録がなく使用していませんが、前作のトマトで使用した薬剤に含まれるシアントラニリプロールが残留し検出された可能性があります。